



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)磯子区杉田5丁目新築工事	階数	地上7F 地下0F
建設地	横浜市磯子区杉田五丁目513番6	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	208 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年7月4日
敷地面積	1,129 m ²	作成者	西尾建築設計
建築面積	714 m ²	確認日	2022年7月4日
延床面積	3,994 m ²	確認者	西尾建築設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 83%
③ 上記+②以外の: 83%
④ 上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合		その他
建物の温熱環境や住棟の劣化対策、住戸内の効率の良い設備機器設置を考慮した設計を目指しました。断熱等性能等級は4、劣化対策等級は3の等級で設計しました。		特になし
Q1 室内環境 外皮性能: 品確法5-1断熱等性能等級を4で施工します。	Q2 サービス性能 部品、部材の耐用年数: 品確法劣化対策等級を3で施工します。	Q3 室外環境(敷地内) 夜間照明の設置による防犯対策をしている。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制: 外皮性能を品確法5-1断熱等性能等級を4で施工します。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護: 主要水栓に節水機器を使用します。	LR3 敷地外環境 自転車利用に対する工夫: 利用者に対する駐輪場の確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



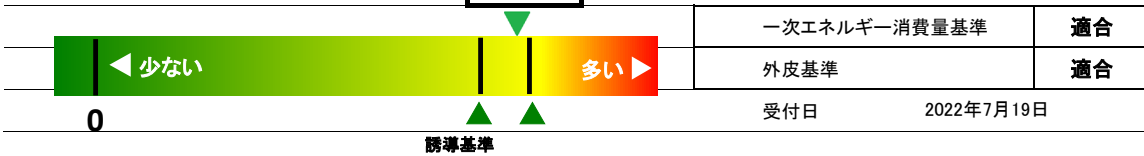
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)磯子区杉田5丁目新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **2** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①建物外皮の熱負荷抑制: 品確法の等級4で施工。

②自然エネルギー利用: 有効な採光・通風が確保されている。

③設備システムの高効率化: BEI=0.98

④効率的運用: 住まい手に設備毎の説明書を手渡す。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

⑤外皮性能: 品確法の断熱等性能等級4で施工。

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥健康対策: 使用する材料は、F☆☆☆☆品のもとする。

⑦防犯対策: 夜間照明の設置。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮耐震・免震: 建築基準法に定められた耐震性を有する。

⑯部品・部材の耐用年数向上: 品確法劣化対策等級3で施工。

⑰信頼性: CATV、インターネット、電話の情報分電盤を設置する。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑲まちなみ・景観: 植栽により良好な景観を形成する。

⑳地域性への配慮: 防犯性の配慮について重点を置いた。

太陽光発電などの導入 環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入

— — —



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)磯子区杉田5丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									3.0
Q1 室内環境									3.0
1 音環境				3.0	0.15	1.0	3.20		3.0
1.1 騒音				3.0	0.50	0.5	-		-
1.2 遮音				3.0	0.50	0.5	-		-
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	0.3	-		-
1.2.2 界壁遮音性能				-	-	0.3	-		-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	0.2	-		-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	0.2	-		-
1.3 吸音				-	-	-	-		-
2 温熱環境				3.0	0.35	1.0	3.10		3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	0.5	-		-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.63	0.6	-		-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	0.4	-		-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.20	0.2	-		-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	0.3	-		-
3 光・視環境				3.0	0.25	1.0	3.00		3.0
3.1 屋光利用				3.0	0.30	0.3	-		-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.60	0.5	-		-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	0.3	-		-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	0.2	-		-
3.2 グレア対策				3.0	0.30	0.3	-		-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	1.0	-		-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	0.2	-		-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	0.3	-		-
4 空気質環境				3.0	0.25	1.0	3.00		3.0
4.1 発生源対策				3.0	0.60	0.6	-		-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	1.00	1.0	-		-
4.2 換気				3.0	0.40	0.4	-		-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	0.3	-		-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	-	0.3	-		-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	0.3	-		-
4.3 運用管理				-	-	-	-		-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-		-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-		-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	3.40		3.0
1 機能性				3.0	0.40	1.0	3.90		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	0.6	-		-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	1.0	-		-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	0.4	-		-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	0.5	-		-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	0.5	-		-
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	3.10		3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-		-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.3 電気設備	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性	4.0	0.20	-	-		-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	1.0	3.00		3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	0.5	-		-
3.1.1 階高のゆとり				-	-	0.6	-		-
3.1.2 空間の形状・自由さ				-	-	0.4	-		-
3.2 荷重のゆとり				-	-	0.5	-		-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-



CASBEE横浜2022年版v.1.0
 (仮称)磯子区杉田5丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	2.50			3.0
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	2.00			3.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	3.00			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	2.50			3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.10			2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	3.30			2.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	4.00			2.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	3.00			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.2	0.50	-	3.20			2.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	3.00			3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-			-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-			-
4.1 モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
4.2 運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	2.90			3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	3.40			3.0
1.1 節水				4.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-			-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.60	-	2.70			3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.00			3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-			-
1 消火剤				-	-	-	-			-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	1.00	-	-			-
3 冷媒				-	-	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	3.10			3.0
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	3.60			3.0
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	2.90			3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-			-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-			-
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	3.00			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
1 騒音				3.0	1.00	-	-			-
2 振動				-	-	-	-			-
3 悪臭				-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-			-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-			-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-			-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-			-

上記以外の重点項目									
<事務用途>				-	-	-	-		
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-		
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-		
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	3.0	-	-	-		